

令和3年度（2021年度）胆振管内観光入込客数の状況について

令和4年（2022年）8月
北海道胆振総合振興局

【概要】

令和3年度（2021年度）の観光入込客数は9,479.5千人で、前年度（9,311.3千人）と比べて168.2千人の増加（前年度比101.8%）となり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、統計が新方式になった平成22年度（2010年度）以降で最少となった令和2年度（2020年度）からわずかに回復しました。

令和3年度（2021年度）は、道の旅行割引制度「新しい旅のスタイル」（4月、5月、10月、11月、12月）や市町村独自の旅行割引制度などのプラス要因もありましたが、まん延防止等重点措置（5月、6月、7月、8月、1月、2月、3月）や、緊急事態宣言（5月、6月、8月、9月）の適用もあり、コロナ禍以前の令和元年度（2019年度）（16,179.7千人）との比較では、41.5%減と、厳しい状況が続いています。

（道外・道内別）

道外・道内別では、道外観光客は2,031.5千人（構成比21.4%）で前年度から7.5千人の増加（前年度比100.4%）、道内観光客は7,448.0千人（構成比78.6%）で前年度から160.7千人の増加（前年度比102.2%）となっています。【資料1】

感染症の流行が拡大する前の、令和元年度（2019年度）との比較では、道外客の比率は、34.7%から21.4%へ減少しており、ここ数年、全国、北海道で緊急事態宣言等の行動制限に係る措置が発出された影響で、遠方地への旅行を控える傾向が継続していると考えられます。

（日帰り・宿泊別）

日帰り・宿泊別では、日帰り客数は8,201.7千人（構成比86.5%）で前年度から122.5千人の増加（前年度比101.5%）、宿泊客数は1,277.8千人（構成比13.5%）で前年度から45.7千人の増加（前年度比103.7%）となりました。

宿泊客延べ数は1,440.6千人泊で、前年度から29.1千人泊の増加（前年度比102.1%）となっています。【資料1】

【資料1】令和3年度（2021年度）胆振管内観光入込客数内訳

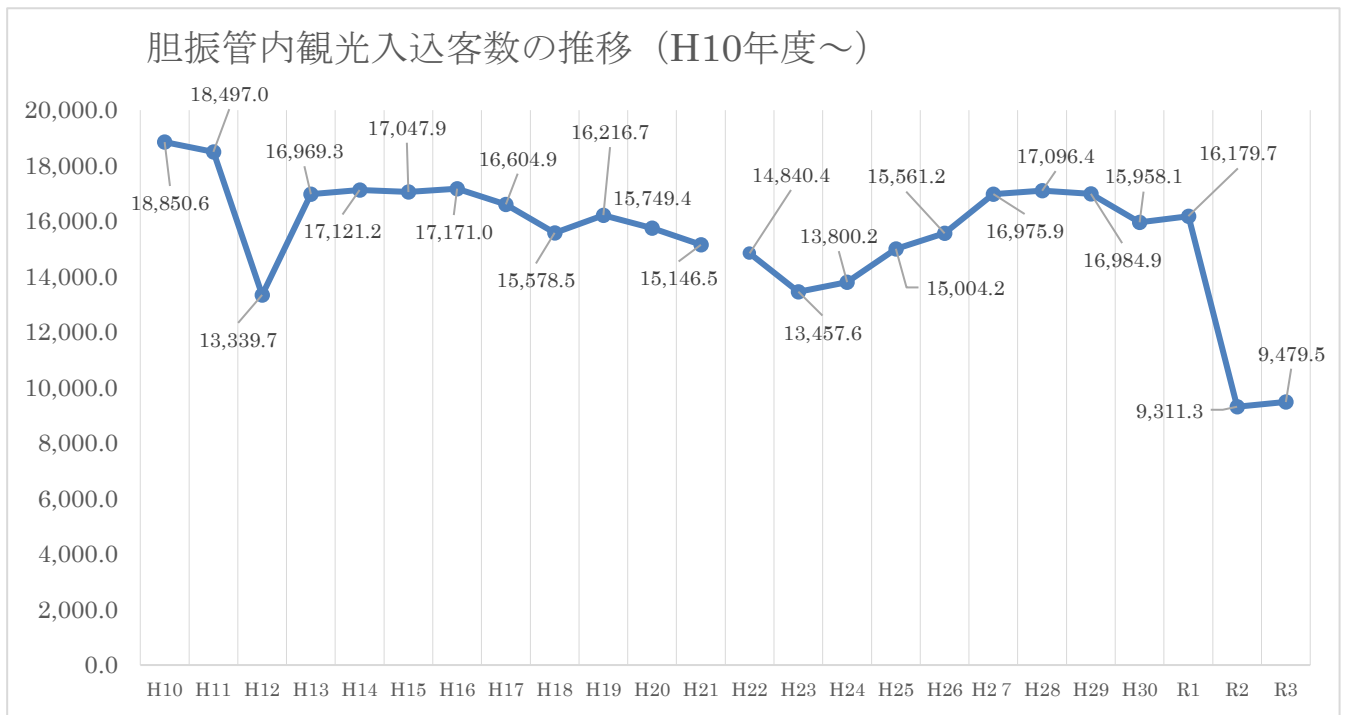
（単位：千人、千人泊）

区 分		令和3年度（2021年度）観光入込客数		前年度比	前年度からの増減数
			構成比		
道内・道外別	道外客	2,031.5	21.4%	100.4%	7.5
	道内客	7,448.0	78.6%	102.2%	160.6
日帰り・宿泊別	日帰り客	8,201.7	86.5%	101.5%	122.4
	宿泊客	1,277.8	13.5%	103.7%	45.7
入込総数（千人）		9,479.5	100.0%	101.8%	168.1
宿泊客延べ数（千人泊）		1,440.6	—	102.1%	29.1

以下参考として、平成 10 年度（1998 年度）からの観光入込客数の推移【参考資料 1】、令和元年度からの 3 カ年における観光入込客数の月別の推移【参考資料 2】を添付しています。

【参考資料 1】胆振管内観光入込客数の推移（H10 年度～）

（単位：千人）



【参考資料 2】胆振管内観光入込客数の推移

（単位：千人）

